

ミヤコイヌワラビ

Athyrium frangulum Tagawa

メンダ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育地がごく稀で、個体数が少ない。(現況:RO)

形態

根茎は直立して葉を叢生する。葉は3回羽状複葉で深裂し、柔らかい草質である。葉柄や中軸は赤みを帯びる。両部分が緑色のものもある。小羽軸や中軸の分岐に柔らかい棘がある。

国内分布

本州(関東以西)、四国、九州。

県内分布

南加賀区。

生態など

夏緑性、地表植物で好陰湿地性、繁殖は孢子による。孢子は初夏に熟し始め、風で散布する。

生育環境

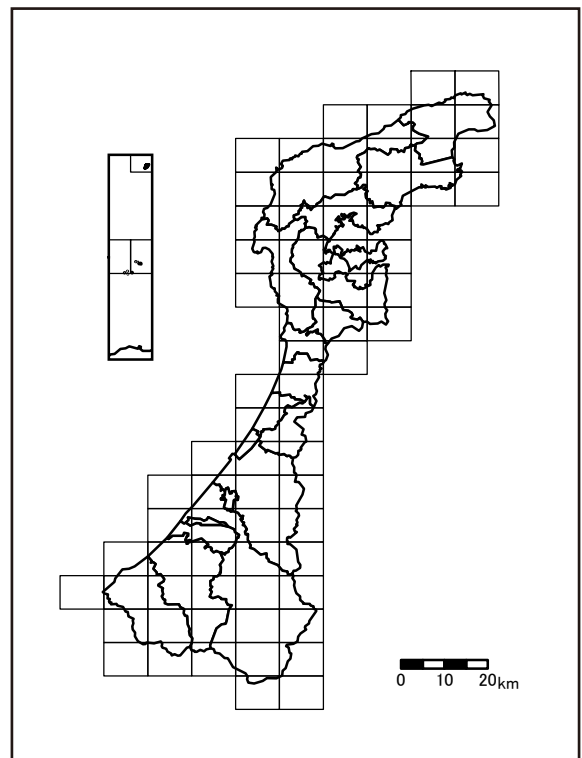
溪流沿いの湿気の多い林床・陰湿なスギ林などに生育する。

危険要因

森林伐採、産地局限。



米山競一・2001年8月19日



県内の分布